

笑いを楽しむ

2025年5月16日(金) 校外学習 尼崎の町巡り



阪神尼崎駅西改札口で集合し、前半は、ボランティアガイドさんの案内で、「寺町」を見学しました。

寺町とは、多くの寺院が集まった地域に見られる地名で、その多くは、近世城下町の建設とともに、政治的意図をもって城下町の外縁に造られました。

尼崎の代表的な歴史空間「寺町」は、3.9ヘクタールの地域に、11か寺が軒を連ね、かつての城下町であった面影を今に伝えています。由緒ある寺院が多く、国・県・市指定文化財も集中しています。

- (1)本興寺(法華宗) 日蓮の所持していた太刀「数珠丸」など宝物が11月3日には一般公開される
- (2)全昌寺(曹洞宗) 初代尼崎城主戸田氏鉄が入城の際、大津から移築。
- (3)廣徳寺(臨済宗) 豊臣秀吉が敵に追われ寺に逃げ込んで、髪を剃って僧に化けて難を逃れた伝説有
- (4)甘露寺(浄土宗) 本堂の屋根の上の鳳は西から飛んできたので、東を向いている
- (5)法園寺(浄土宗) 失政のためこの寺で切腹を秀吉から命じられた佐々成政の墓である五輪塔がある
- (6)大覚寺(律宗) 2月3日には身振り狂言・からくり人形の上演・豆まきが行われる。閻魔十王像有り。



- (7)長遠寺(日蓮宗)
- (8)如来院(浄土宗)
- (9)専念宗(浄土宗)
- (10)善通寺(時宗)
- (11)常楽寺(浄土宗)

後半は、近畿の名城「尼崎城」を見学しました。



尼崎城は、大阪夏の陣後、徳川大坂城の西の守りの要として、また西国支配の拠点とするため、1617年、譜代大名の戸田氏鉄(うじかね)に築城させました。3重の堀と4層の天守からなる城で、その規模は、約300メートル四方、阪神甲子園球場の約3.5倍にも相当する広大なものでした。尼崎城は尼崎藩政の中心として、また、城下町尼崎のシンボルとして、約250年もの間、その威容を誇りました。

しかし、1873年(明治6年)に廃城になり、天守などの建物は取り壊され、堀も埋められます。

それから約150年後の2018年、天守が再建されました。一帯は尼崎城址公園として、現在一般公開されています。

会食後、午後からは尼崎商店街巡り、世界の貯金箱博物館見学など班毎の活動で親睦を深めました。

(2班広報担当)